

6 生きものを育てる



～いろいろな生きものがすむ場所になる～

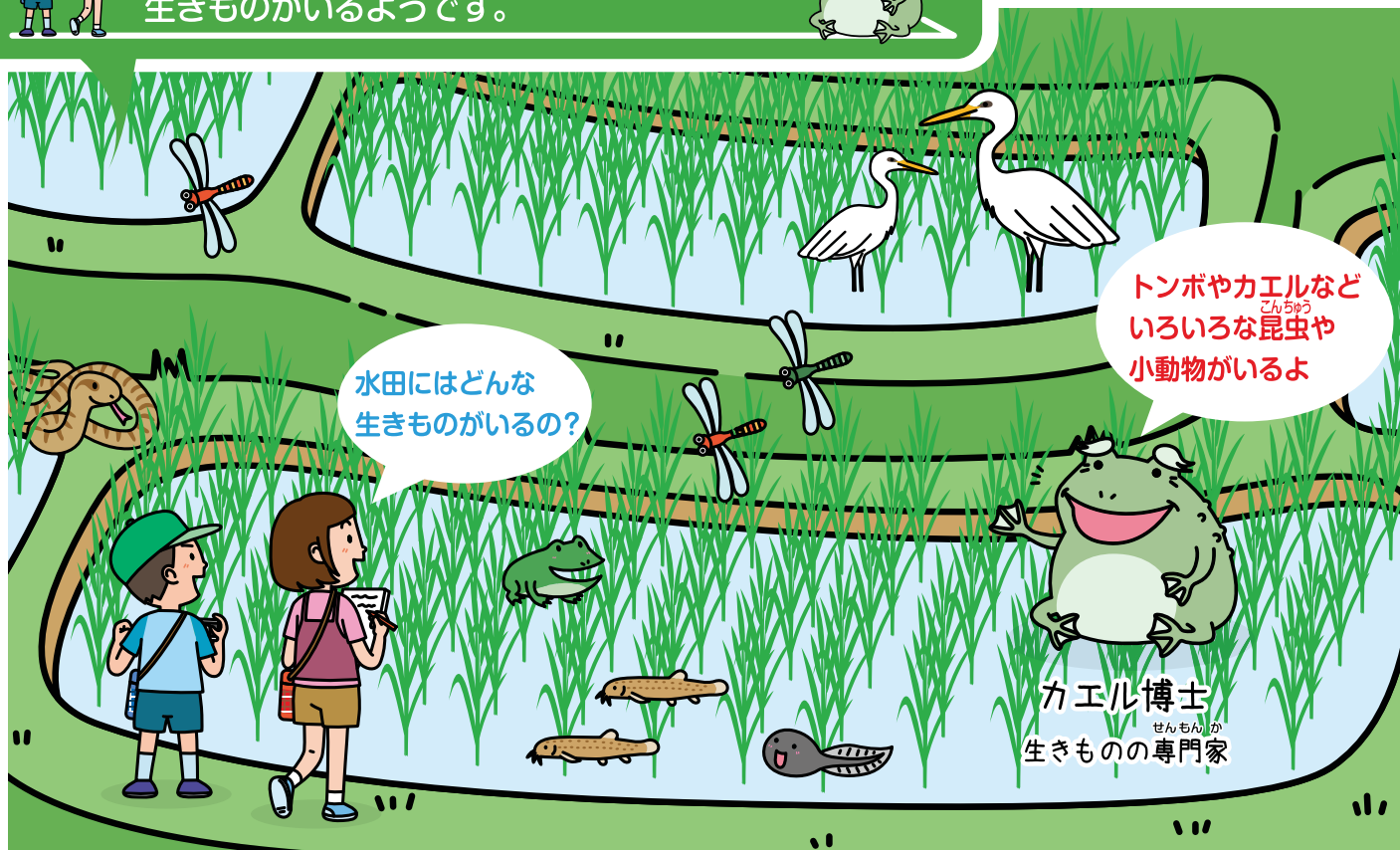
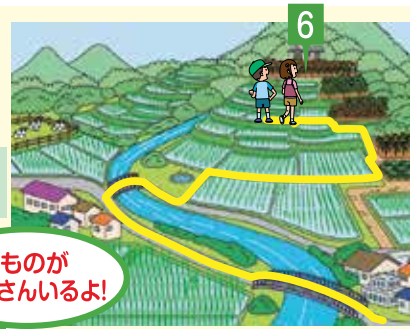


鳴き声が聞こえてきたので田の中をのぞいてみました。田には、いろいろな生きものがいるようです。

ゲロゲロ



生きものがたくさんいるよ!



水田にはどんな生きものがいるの?

トンボやカエルなどいろいろな昆虫や小動物がいるよ

カエル博士
せんもんか
生きものの専門家

解説



カエル博士

水田に集まる生きものたち

田がまわりの山や川、水路とつながることで、いろいろな生きもののすみかとなり、豊かな生態系が保たれています。

アメンボ、トンボ、タニシ、ホタル、メダカ、オタマジャクシ、カエル、ドジョウ、イモリ、ヘビ、サギなど

畑もつながっているよ



オタマジャクシ



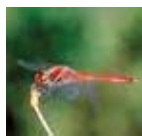
アカハライモリ



シマヘビ



タガメ



ナツアカネ



シオカラトンボ



ハイケボタル



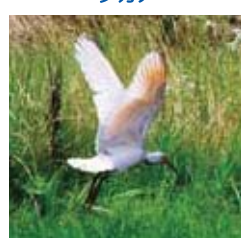
ナゴヤダルマガエル



メダカ



マルタニシ・モノアラガイ



トキ

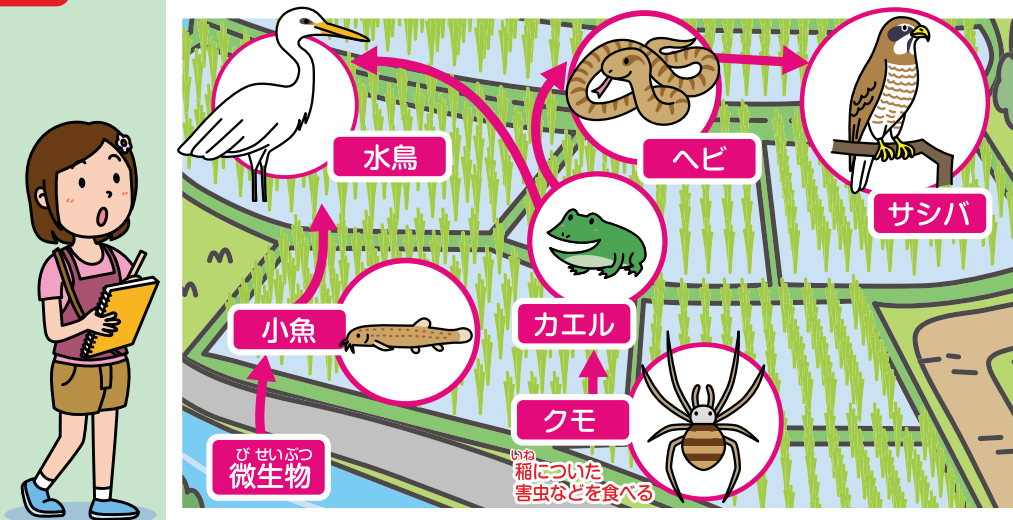


なぜ水田にはいろいろな生きものが集まってくるの？

生きものには食べたり食べられたりする関係(食物れんさ)があり、多くの生きものが集まり、つながりあって生きています。例えば、水田にはたい肥などの有機物を分解する微生物がたくさんいます。その微生物を小魚が食べ、またその小魚を水鳥が食べます。

解説

水田の食物れんさ



田畑は、生きものの生活の場になって
いるんだよ



メダカやホタルを守る活動



飛び交うホタル

水田や水路などで見られるメダカは、すみかの減少などで数が減ってしまい、環境省から絶滅危惧種(※)として指定されました。

また、ホタルも数が減少して、観察のできる場所が減ってしまいました。現在、これらの生きものを守る取り組みが、全国各地で行われています。

※絶滅危惧種：絶滅のおそれがある生きもののこと



あおいのメモ帳 6

田畑は生きもののすみ場所

・び生物 → 小魚 → 水鳥



・クモ → カエル → ヘビ



など



【まとめ】

・農村はいろいろな生きもののすみかになる



6

生きもの

・食べたり食べられたりする関係でいろいろな生きものが集まる

カエル博士から
ササをもらった。